








とうきょうすくわくプログラム活動報告書

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

園名	東京幼稚園	子どもの言葉・姿	写真
活動日時	令和7年度		
クラス名 (年齢)	全学年		
年間テーマ	自然環境に親しむ		
<テーマの設定理由>			
<p>園庭の木々の落ち葉や実を拾って集めている姿や、雨上がりの水たまりで遊んだりする子どもたちの姿から、身近な自然への興味・関心が見られる。この興味をさらに深め、探究心を育むこと・季節ごとの自然の変化に気づき、感じたことを表現する力を育むことを目的とする。都市部の当園でも、公園や園庭の植物など、身近な自然を通して、自然と触れ合う体験を大切にしたい。</p>		<p>・張替えたばかりの芝生の上で裸足になり、「ふわふわ～」と嬉しそうにする姿</p> <p>・園庭の木の下で、色や形の違う落ち葉を見比べながら、気に入ったものを大切そうに集めていた。</p> <p>・雨上がりにできた水たまりで、楽しそうに泥遊びをした。水の冷たさや泥のやわらかさを感じ取り、「ここはぬるぬる」「こっちは冷たい」と感覚を言葉にしていた。</p> <p>・「この葉っぱ、赤くてきれいだよ」「黄色い木の実みつけた。なんの木だろう？」子どもたちは自然の変化に気づき、自分の感じたことを伝えたい気持ちが表れていた。</p>	
<活動スケジュール>			
<p>春：園庭の植物観察（葉っぱの形、花のにおいなど）、虫探し。</p> <p>夏：水遊びや泥遊び。雨上がりの水たまりでの遊び。</p> <p>秋：落ち葉や木の実拾い。拾ったもので製作遊び。</p> <p>冬：霜柱や氷の観察。寒くても元気な植物や虫を探す。</p> <p>ルーベを使って、葉っぱの葉脈や虫の体をじっくり観察したり、拾った落ち葉や木の実を使ってお面やアート作品を作る。また、泥や水、砂の感触を楽しむ。</p>			 
<環境設定>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・芝生の張替え</li> <li>・iPadでの活動記録</li> </ul>			 
		<p>&lt;振り返り&gt;園庭の落ち葉や実を拾って集めたり、泥遊びを思いっきり楽しんでいたり虫をじっくり観察したりする姿から、子どもたちが身近な自然に強い興味・関心をもっていることが感じられた。色・形・感触・音など、五感を使って自然の変化に気づき、自分の言葉で表現する姿が見られた。都市部の環境の中でも、身近な自然と触れ合う体験を大切にしながら、子どもたちの探究心をさらに育んでいきたい。</p>	



とうきょうすくわくプログラム活動報告書

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

園名	東京幼稚園	子どもの言葉・姿	写真
活動日時	令和7年度		
クラス名 (年齢)	全学年		
年間テーマ	生き物に親しむ		
<テーマの設定理由>			
<p>園庭で虫を見つけると、子どもたちが「先生、見て！」と興味を持つ様子が度々見られる。この好奇心をさらに深め、身近な生き物への興味・関心を広げるためこの計画を考えた。さらに、LOVOTが愛情を求めてくる様子を通して、子どもたちは「愛する力」や「思いやりの気持ち」といった非認知能力を育むことを目指す。命ある生き物との触れ合いを通じて、世話をすることの大切さや命の尊さを感じることを目的とする。</p>		<p>・「ダンゴムシ、丸くなったよ」 「葉っぱの下に隠れてる。お家かな」 ・LOVOTと関わる時に、子どもたちの言葉と行動に、発見・思いやりが自然に表れていた。「やさしく触らないと、びっくりしちゃうよ」「生き物と同じで、あったかいね」 ・移動動物園での動物との触れ合いで、「ふわふわしてる。あったかい」「いっぱい食べてる。お腹すいてるみたい。」 ・振り返り活動でロールペーパーに絵を貼りながら、自分の体験を言葉に表していた。「ウサギかわいかったね」「ポニーに乗れたよね」「リンゴ食べてくれた」と、思い出姿が見られた</p>	
<活動スケジュール>			
<p>生き物とLOVOTの活動を並行して進めることで、子どもたちの気づきを促す。 日常：園庭にいる自然の生き物と触れ合う。LOVOTと遊ぶ際のお約束をみんなで考えたり、LOVOTのための遊び場を協力して作ったりする。生き物の冬の過ごし方について図鑑や絵本で調べる。 移動動物園を呼び、普段触れ合う機会のない小動物（ウサギ、モルモットなど）と触れ合う。振り返り活動では、ロールペーパーに絵を貼り学年ごとに発表を行う。</p>			
<環境設定>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動動物園</li> <li>・LOVOT (ロボット)</li> <li>・画用紙、ロールペーパー</li> </ul>			
		<p>&lt;振り返り&gt; 園庭の生き物との触れ合いやLOVOTとの関わり、動物との体験を通して、子どもたちは“生きているもの”への興味・関心を深めていた。動き・温かさ・反応の違いに気づき、比較しながら考える姿が見られた。また、やさしく触れるなど、相手を思いやる関わりが自然に育っていた。振り返り活動では、自分の体験を絵や言葉で表現し、友だちと共有する姿が見られ、探究の広がりを感じられた。</p>	

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

園名	東京幼稚園	子どもの言葉・姿	写真
活動日時	令和7年度秋～冬		
クラス名(年齢)	全学年		
テーマ	昔ながらの道具で食を体験しよう ～かまどで炊いたお米から、おいしいお餅づくり～		
<テーマの設定理由>			
<p>当園では伝統行事として餅つき会を行っている。これまで、餅ができるまでの過程について、絵本や写真により子どもたちに説明を行っていたところ、餅はもち米からできることを説明すると、毎年驚いたり不思議そうな顔をする子どもたちが多い。そこで、もち米から餅ができる過程を実際に見て、蒸したもち米の香りや、餅をつく体験、つきたての餅の感触を味わい、杵や臼といった普段見慣れない道具に実際に触れることで、食の探究への興味を深めたい。</p>		<p>・もち米を洗う際に、「もうお餅のにおいがする。いいにおい」と言っていた。</p> <p>・蒸したもち米を見て、においをかぎ、湯気を見つめ「いいにおい」と表情がほころんだ。</p> <p>・餅つき中は、友だちが餅つきをする姿に合わせて一所懸命に「よいしょー！」と掛け声を行っていた。また、「熱そう。湯気がでてるよ」</p> <p>「ぺったんの音が変わってきた!」「お餅になってきた」と、子どもたちの声には、素材の変化への気づき・挑戦したい気持ち・仲間との協力が自然に表れていた。</p>	
<活動スケジュール>			
<p>①導入 ・もち米をとぎ、感触と香りを感じる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に臼や杵、薪などの準備物を観察</li> <li>・かまどでの蒸し作業見学</li> <li>・薪をくべる様子、湯気、香りを観察</li> <li>・「どうして煙が出るのかな」「火はどんなにおい？」などの問いかけ</li> </ul> <p>②餅つき体験 ・杵を持って一人ずつ餅をつく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応援する友だちと「よいしょ」の掛け声を合わせる</li> </ul> <p>③振り返り ・つきたての餅に触れる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もちの絵本を見てもち米から餅ができるまでを振り返り、学ぶ</li> </ul>			
<環境設定>			
・かまど		<p>&lt;振り返り&gt; 事前活動で、米や道具への理解を深め、当日の体験がより主体的になった。素材の変化に気づく観察力や、友だちと協力しながら挑戦する協同性が育っていることが感じられた。また、伝統行事に触れることで、季節の文化への興味や親しみが深まっていた。</p>	